

松戸市長 川井 敏久 殿
千葉県知事 堂本 暁子 殿

主 旨 県道、松戸～六実線と新京成線の地下道立体化工事完成に伴い、従来の歩行者用踏切が閉鎖されましたが、その結果、自転車、歩行者、車椅子等すべてがこの地下歩道を利用するしか無くなりました。しかし、この地下歩道は出入口が急勾配のため、車椅子での通行は手助けなくしては無理であり、高齢者がショッピングカーを押して上がることも困難を極めています。その上、車の排気ガスが地下歩道に上がり、臭いもひどく健康に悪影響があるのは明らかなです。又、スピードを出している自転車とのすれ違い、襲われたら逃げ場のない道、暗い、危険、怖いなどの理由で通行量が大幅に減っております。その様な理由から五香駅の東西往来は分断され、住民の利便性が大きく損なわれているのが実状です。「お年寄りや障害者にやさしく」を掲げ、バリアフリーを進める松戸市の施策にも逆行していると言わざるを得ません。商店街でも、来街客は減少し商店の売上は大幅に落ち込んでいる状況であります。

階段やスロープ、照明など、いくら地下歩道を改善しても根本的な問題の解決にはなりません。それよりは、費用も少なくして済む歩行者専用（自転車、車椅子含む）踏切を開通させることが、根本的解決策であると考えます。アンケートの結果でも84%の人が踏切の開放を希望しています。

以上の理由により、早急に歩行者専用踏切の開通を要望します。

五香立体歩行者用踏切の開通を実現させるため署名をお願いします

サンロード五香商店街振興組合

[illegible]